

戦評

大会名：JVA第78回全日本バレーボール高等学校選手権大会岩手県代表決定戦

会場名：盛岡タカラアリーナ

男子決勝

主審：及川晃弘

副審：中村偉織

試合結果



試合時間 1時間38分

第1セット中盤、一関修紅7番七木田、13番佐藤遙のスパイクが決まりリードする展開となる。南昌みらいは2番竹花のスパイクとサービスエースで逆転するも、一関修紅の4番内村のスパイクが決まりセットを先取する。

第2セットは一関修紅3番山崎のサービスエースやブロックが決まり、11番三浦の速攻を効果的に使ったトスワークも冴え、セットを連取する。

第3セット、後がない南昌みらいはリベロ平賀と5番石ヶ森の安定した守備と4番鶴田の連続ブロックで波に乗りセットを奪い返す。

第4セットも1点を争う好ゲームとなるが、一関修紅11番三浦の速攻、7番七木田のライト攻撃が決まり、2年連続16回目の優勝を決めた。

戦評者：手島瑞夫

戦評

大会名 JVA第78回全日本バレーボール高等学校選手権大会岩手県代表決定戦

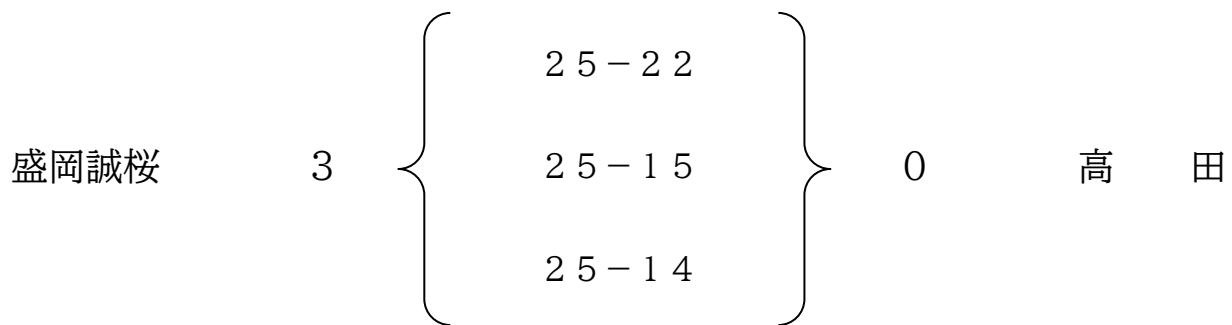
会場名：盛岡タカラアリーナ

女子決勝

主審：新沼美穂

副審：畠山沙由利

試合結果



試合時間 1時間9分

---

第1セット、盛岡誠桜は3番三浦、4番阿部、高田は5番細谷の攻撃を中心に終盤まで1点を取り合う展開となるが、3連続得点で盛岡誠桜が先取する。

---

第2セット、盛岡誠桜は高いブロックで相手の攻撃をはね返し、終始リードしてゲームを進める。高田は軟打で対抗するが、終盤、盛岡誠桜が連続ブレイクでこのセットも連取する。

第3セットも前セットの勢いのまま盛岡誠桜のリードでゲームは進む。高田は懸命の守備から1番湊、5番細谷のスパイクで反撃を試みるも、盛岡誠桜は1番佐藤、3番三浦らの力強いスパイクで得点を重ね、このセットも奪い、5年連続30回目の優勝を決めた。

---

---

---

戦評者：大山幸司